

# 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度

## 趣旨

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって**技能者の地位及び技能水準の向上**を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としている。

## 被表彰者の決定

被表彰者は、次の各号の全ての要件を充たす者であつて、**都道府県知事、全国的な事業主団体等、個人(満20歳以上の者に限る)**のいずれかの推薦を受けた者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見を聴いて決定する。

- ① **きわめてすぐれた技能を有する者**
- ② **現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者**
- ③ **技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者**
- ④ **他の技能者の模範と認められる者**

## 表彰

表彰は、厚生労働大臣が**毎年1回**、概ね150名の被表彰者に表彰状、卓越技能章(盾及び徽章)及び褒賞金(10万円)を授与している。

令和3年度の受賞者は、鍛冶工、研ま盤工、打抜プレス工、産業用機械組立工、民生用電子・電気機械器具組立工・修理工、自動車整備工などの工業系技能職から**43名**、製糸工、婦人・子供服注文仕立職、宮大工、かわらふき工、造園工等、化学製品検査工、木製建具製造工、洋菓子製造工、理容師、天ぷら料理人、畳工、広告美術工、蒔絵師、データサイエンティストなどの生業系技能職から**107名**の合計**150名**。昭和42年に第1回の表彰が行われて以来、令和3年度の第55回の表彰までで6,796名が表彰されている。

## 令和3年度の代表的な被表彰者



廣澤 実氏(56歳)

(研ま盤工 株式会社ミツヨ 宇都宮事業所)

高品質な精密加工技能や専用機の開発技能が卓越しており、研削加工における平面度・面粗さの精度要求対応への技能等により、高精度CNC三次元測定機等の量産化に貢献した。また、生産技術の経験を生かして後進の育成にも大きく貢献している。



石川 吉登氏(71歳)

(宮大工 株式会社立川流石建)

和様建築を基本とした社寺建築に卓越した技能を有し、代々受け継がれてきた正方形の巻斗(まきと)を長方形にすることで建物をやわらかく見せる技法を生み出した。また、職業能力開発校の非常勤講師として後進の育成・指導も行ってきた。



佐藤 千鶴子氏(74歳)

(婦人・子供服注文仕立職 アトリエSen)

多彩な手工芸技法を駆使したドレスの製作技能は、高く評価されており、和服からのリメイク服の縫製に適した独自の手縫い技法・二目一返しを考案するなどして顧客のニーズに合った洋服作りを行う。また、洋裁研究会の開催等により後進育成にも尽力している。



早乙女 哲哉氏(75歳)

(天ぷら料理人 有限会社てんぷらみかわ)

天ぷらという日本が世界に誇る調理技術をさらに進化させ、天ぷらの油の温度の常識が180度に対し、200度~230度で揚げる高温の扱いの工夫を確立し、その技を調理師学校の学生や若い料理人に伝授している。